令和5年3月1日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題: 出血点の視認性向上を目的とした内視鏡画像処理研究

研究責任者: 藤田医科大学消化器内科 主任教授 廣岡芳樹

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

研究目的:

胃潰瘍出血など消化管出血に対して内視鏡による止血治療が一般的に行われています。この止血処置を行うには出血している部位をしっかりと見つけることが必要です。胃がんを早期に発見し内視鏡で切除する際には頻回に出血を来すことが多く、出血点を素早く見つけ出すことで治療時間を短くでき、治療を安全に行うことに繋がります。本研究の目的は、内視鏡による出血点が画像処理でより分かりやすくなるかどうかを調べることです。

研究機関:

倫理審査委員会承認日～2024年3月31日

研究方法:

研究対象者は、当院消化器内科で消化管腫瘍(腺腫、癌)に対し内視鏡治療を行う患者です。

- 1, 内視鏡治療を富士フイルムメディカル社製内視鏡を用いて内視鏡治療を行います。その治療中の内視鏡画像(動画)を個人情報が含まないようにして出力し電子媒体に保存します。
- 2, 保存した画像(動画)に画像処理を行うため外部機関に委託します。
- 3, 画像処理されたものを前後の出血部位のみやすさを比べ、画像処理が有用かどうか調べます。

なお本研究は録画した画像を処理して行う研究であり、通常診療として内視鏡治療を行われる方が研究対象者になります。内視鏡治療を行っている最中で安全に治療が続けられないと医師が判断した場合は、治療自体を中止します。そして治療中の画像を今回の研究に用いることも中止します。

本研究に参加することで、通常の診療と比べ、研究対象者の経済的負担が増えることはありません。また、本研究に参加されることに対する謝礼はありません。

資金源・利益相反に関する状況:

本研究は、藤田医科大学消化器内科学の研究費で賄われます。企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

*** 本研究の対象になられる方で、ご自身のデータの利用を除外してほしいと希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。除外のお申し出により不利益を被ることは一切ありません。**

問い合わせ先:

藤田医科大学消化器内科

担当者: 船坂 好平

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9240

e-mail: k-funa@fujita-hu.ac.jp